校訓　『高く　大きく　美しく』

教育目標

「誇り高く　夢大きく　こころ美しく
よりよい社会を創ろうとする生徒の育成」

中村中学校　　学校通信　NO.２０　2022.2.18 発行　　℡　0880－34－4137：文責　山﨑利彦

年を明けての３学期は、本当に早く過ぎ去ります。今年度、本校の卒業式は、３月１２日(土)となっていますので、３年生が学校に登校してくる日も１４日ほどになりました。感慨深く思います。

今、冬季オリンピックが中国で開催されていますが、今年度の夏には日本で熱い戦いも繰り広げられました。そんな世界のトップレベルで戦い、挑戦をしている選手に、この中村中学校にも来ていただき直接生徒に話もしていただけたら…と思い、オリパラのカヌー代表の小松沙季選手（本校の卒業生）に２月１０日に来ていただく予定としていました。しかし、新型コロナウィルス（オミクロン株）の感染拡大で来校も中止せざるを得なくなりました。それぞれの生徒に響く言葉があると思っていましたので、本当に残念でなりません。　※来年また計画します！

学校行事が変更となったり、部活動が制限されている中ですが、３月１２日(土)の卒業式は予定通り行うこととして準備を進めています。学校としての対応を下に紹介しますので、ぜひご理解とご協力をお願いします。

令和3年度卒業式　～卒業生は102名です～

〇開始時間　９時３０分～　※約１時間程度で終了予定
〇参 加 者　３年生(102 名)、教職員、１・２年生は生徒会執行部と代議員、音楽部(３階フロアからの演奏)
卒業生の保護者（１家庭につき２名までの参加でお願いします。）
来賓（PTA の代表と四万十市教育委員会のみ）
※通常の卒業式では、各関係者の方々に来賓として出席をしていただき、卒業生の門出を祝っていただいておりましたが、コロナ感染症対策の関係で来賓はごく少数としております。
〇卒業式終了後の最後の学活は各教室で行います。

卒業式の最後には「式歌」をみんなで歌って卒業生を送り出すことが一般的です。その歌をかみしめたとき、自然と涙が出てくることも…。保護者の方もきっと思い出の片隅に卒業式が残っているのではないかと思います。そんな式を行いたいのですが、大きな声で歌うという活動は、“感染リスクが高い”とされていることから、例年のような取組ができていません。もう少し状況を見て判断することとなりますが、現在、「式歌」として多くの学校で歌われている『旅立ちの日に』という歌を紹介します。本校もこの歌を式歌としています。本当にいい歌です。もし、全員で歌えなくても、声を出せなくても、思いは届きます！

旅立ちの日に

白い光の中に
山なみは萌えて
遥かな空の果てまでも
君は飛び立つ
限り無く青い
空に　心ふるわせ
自由を駆ける鳥よ
ふり返ることもせず
勇気を翼にこめて
希望の風にのり
このひろい大空に
夢をたくして

懐かしい友の声
ふとよみがえる
意味もないいさかいに
泣いたあの時
心通ったうれしさに
抱き合った日よ
みんな過ぎたけれど
思い出強く抱いて
勇気を翼にこめて
希望の風にのり
このひろい大空に
夢をたくして

いま　別れのとき
飛び立とう　未来信じて
弾む　若い　力信じて
このひろい
このひろい
大空に

「旅立ちの日に」は、埼玉県秩父市立影森中学校で誕生しました。荒れていた中学校を少しでも立ち直らせようと取り組んだことが**「歌声の響く学校づくり」**でした。当初はうまくいかないことも多くあったそうですが、次第に**歌う楽しさを感じる**ことができるようになった生徒たち。学校生活も少しずつ落ち着き明るくなっていきました。そのスローガンを掲げた３年後、生徒への思いを綴った校長の詩に曲がつけられ、サプライズとして３年生を送る会で教職員が最初に歌ったようです。それは、1991 年のことでした。影森中で歌われるようになったこの歌が次第に近隣の学校に広がり、全国で紹介されるようになり、そして、多くの学校で歌われるようになっています。

受検を控えた３年生、プレッシャーや不安はあると思いますが、入試まであと少し努力を続けてください。そして、期末週間目前の１・２年生、学年の締めくくりとしてしっかり学習に取り組み、３年生からのバトンを受け継いでください。